

令和6年度専門研修(断続研修)保健体育研修講座 内容一覧

回	実施日	研 修 目 標	研 修 の 方 法 ・ 内 容	会 場
1	5/14 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○断続研修の趣旨を理解する ○1年間の研修の見通しを持つ ○授業研究の進め方、これからの体育科・保健体育科授業の在り方を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 講話 ○断続研修の趣旨 講義 ○1年間の断続研修を見通して ○研究構想とテーマの設定 ○個人研究のまとめについて ●これからの体育科・保健体育科授業の在り方について ●授業研究の考え方について (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎) 	アクション福岡 (視聴室)
2	6/11 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領の趣旨・考え方を理解する ○授業づくりと評価の方法を理解する ○個人研究の構想を発表することで今後の研究の見通しと課題を明らかにする 	<ul style="list-style-type: none"> ●授業研究の進め方 ●研究構想の審議 (愛媛大学 教授 日野 克博) ○研究構想について 	アクション福岡 (第3・4研修室)
3 4 5	7/25 (木) ～ 11/29 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ○専門研修(短期研修)講座に参加することで専門的な知識・技能を身に付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ★専門研修(短期研修)講座より3講座を受講 ※令和6年7月30日(火)実施の短期研修は必修 (桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊) 	アクション福岡
6	8/28 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション作成の方法を学ぶ ○授業づくりの方法等を理解する ○検証方法等を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ●プレゼンテーションの基礎 (福岡県教育センター指導主事) ○検証授業に向けた指導案審議1 ○検証方途について 	アクション福岡 (視聴覚室)
7	9/27 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ○授業づくりの方法等を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ○検証授業に向けた指導案審議2(模擬授業) ●模擬授業に対する指導助言 (久留米大学 教授 野田 耕) ○指導案作成・検証方途について 	アクション福岡 (第3・4研修室) (サブアリーナ)
8	10/22 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観を通して授業分析力を高め、授業づくりについて考える <p>(受講者代表所属校での授業研究会①)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究 ○検証授業と授業分析 ●テーマに基づいた授業分析方法について① ●研究協議及び指導助言 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎) 	移動講座
9	11/6 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観を通して授業分析力を高め、授業づくりについて考える <p>(受講者代表所属校での授業研究会②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究 ○検証授業と授業分析 ●テーマに基づいた授業分析方法について② ●研究協議及び指導助言 (久留米大学 教授 野田 耕) 	移動講座
10	11/26 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○授業参観を通して授業分析力を高め、授業づくりについて考える <p>(受講者代表所属校での授業研究会③)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業研究 ○検証授業と授業分析 ●テーマに基づいた授業分析方法について③ ●研究協議及び指導助言 (愛媛大学 教授 日野 克博) 	移動講座
11	1/9 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ○本県の体育・スポーツ行政を理解する ○研究発表の方法を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> 講話 ●本県の体育・スポーツ行政等について (体育スポーツ健康課) 協議 ○研究発表に向けての資料作成 	アクション福岡 (視聴覚室)
12	2/18 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究内容を発表することで成果と課題を明確にする ○1年間の研修をまとめ、研修の成果を実感する 	<ul style="list-style-type: none"> 発表協議 ○研究内容の発表 ●今後の授業の進め方 (福岡教育大学 教授 本多 壮太郎) 	アクション福岡 (第3・4研修室)